

令和7年 7月 9日

長野県知事 様

令和7年度長野県産業廃棄物3R実践計画書

下記のとおり、産業廃棄物3R実践計画書を提出します。

協定期間	令和5年度から令和7年度	
会社名	窪田建設株式会社	
住所	〒399-4106 長野県駒ヶ根市東町9-22	
代表者名	代表取締役 窪田雅則 印	
業種	製造業 ・ 建設業	
処理施設 所在地 (処理施設を有する場合)	施設名	所在地
	なし	
担当部署	総務部	
担当者名	小池直広	
連絡先	TEL	0265-82-3201
	FAX	0265-82-3393
	電子メールアドレス	Koike-n@kubocon.co.jp
ホームページアドレス	http://www.kubocon.co.jp	

1 産業廃棄物3R実践方針

当社は、建設事業の活動を通じ、省資源、省エネルギーの推進、廃棄物の減量化とリサイクルの向上、環境保全と汚染の予防に配慮した設計及び施工、技術開発に努めます（会社環境方針）

上記を各現場において継続的に実行し、環境に優しい企業活動を行う。

2 基礎数値の把握

(1) 総排出量の推移 t kg 又は m³ ※採用した単位に○)

令和6年度	令和5年度	令和4年度
1989	3636	7673

(2) リサイクル量の推移 t kg 又は m³ ※採用した単位に○)

令和6年度	令和5年度	令和4年度
1902	3515	7659

(3) 売上高の推移 (円)

令和6年度	令和5年度	令和4年度
54億円	39億円	35億円

(4) 廃棄物処理 (リサイクルするものは除く) に要する費用の推移 (円)

令和6年度	令和5年度	令和4年度
2440500	1067700	864400

※排出抑制に基づく費用軽減の取組みの成果を経年でみます。

(5) リサイクルに要する費用の推移 (円)

令和6年度	令和5年度	令和4年度
12049320	19578320	41088820

3 取組み目標及び過年度実績

※目標値の指標の設定は、協定期間中同じ考え方の指標を継続して使用してください。

※協定期間の年度ごとに記載してください。新規の協定締結者は、初年度分のみ記載してください。

(1) 排出抑制のための目標値及び過年度実績値

①総排出量に関する目標値及び過年度実績値

(総排出量と売上高との相関により、減量化の成果 (傾向) を見ます。)

ア 総排出量 (t) kg 又は m³ ※採用した単位に○) / 売上高 (円)

令和6年度 (当年度目標値)	令和5年度 (過年度目標値)	令和4年度 (過年度目標値)
90/億円	90/億円	90/億円

イ アの目標値に対する過年度実績値を記載してください。

令和6年度	対前年比	令和5年度	対前年比	令和4年度
36/億円	38%	93/億円	42%	218/億円

ウ ア以外の指標による目標設定※

令和 年度 (当年度目標値)	令和 年度 (過年度目標値)	令和 年度 (過年度目標値)

※排出抑制目標値については、総排出量/売上高を基本としていますが、これにより難しい場合や自社で決めている場合は、独自に定める指標により作成してください。

その場合、指標の算出方法や考え方について下記に記載してください。また、業務内容別に目標設定を行うことも可能なので、自社の状況に応じて設定してください。その場合、適宜記載欄を追加したり、別添様式 (任意) で記載するなどしてください。

独自に指標を定める場合の算出方法・考え方

--

エ ウの目標値に対する過年度実績値を記載してください。

令和 年度	対前年比	令和 年度	対前年比	令和 年度

②廃棄物処理（リサイクルするものは除く）に要する費用に関する目標値及び過年度実績値

（売上高に占める廃棄物処理（リサイクルするものは除く）に要する費用の割合を見ます。）

ア 廃棄物処理（リサイクルするものは除く）に要する費用（円）／売上高（円）×100（％）

令和6年度（当年度目標値）	令和5年度（過年度目標値）	令和4年度（過年度目標値）
0.015	0.015	0.015

イ アの目標値に対する過年度実績値を記載してください。

令和6年度	対前年比	令和5年度	対前年比	令和4年度
0.045	166%	0.027	113%	0.027

③リサイクルに要する費用に関する目標値及び過年度実績値

（売上高に占めるリサイクルに要する費用の割合を見ます。）

ア リサイクルに要する費用（円）／売上高（円）×100（％）

令和6年度（当年度目標値）	令和5年度（過年度目標値）	令和4年度（過年度目標値）
0.6	0.6	0.6

イ アの目標値に対する過年度実績値を記載してください。

令和6年度	対前年比	令和5年度	対前年比	令和4年度
0.2	40%	0.5	43%	1.17

(2) リサイクル率目標値 (%)

※リサイクル率は現地確認等で最終的なリサイクルを確認できる数字で記載してください。

廃棄物の種類	当年度目標値	過年度実績値		
	令和6年度 目標値	令和6年度 実績値	令和5年度 実績値	令和4年度 実績値
コンクリートがら	100%	100%	100%	100%
アスファルトがら	100%	100%	100%	100%
金属くず	100%	100%	100%	100%
全 体	100%	100%	100%	100%

(3) リサイクル製品使用率目標値

※リサイクル製品使用率＝リサイクル製品（材料）使用量／全体材料使用量（%）

製品（材料）種別	当年度目標値	過年度実績値		
	令和6年度 目標値	令和6年度 実績値	令和5年度 実績値	令和4年度 実績値
砕石	90%	90%	90%	90%
アスファルト合材	80%	80%	80%	80%
全 体	85%	85%	85%	85%

3 産業廃棄物処理責任者等

職	氏 名	職務内容
取締役土木部長	園原幸樹	土木工事の産業廃棄物における責任者
取締役建築部長	中西匡彦	建築工事の産業廃棄物における責任者
取締役総務部長	北村匡史	会社全体の産業廃棄物管理担当者

*必要に応じ管理体制組織図等を添付してください。

4 産業廃棄物の種類、排出量、処理量、処理の方法等に関する情報公開

① 現場毎に掲示板を設置し、産業廃棄物の種類、排出量、処理量、処理方法を記入し、付近住民に情報公開する。
② 対象は産業廃棄物の排出量が10 t以上の現場とする。

5 産業廃棄物処理施設の地域への公開、説明（処理施設を有する場合のみ）

施設の名称	公開計画の有無	公開計画の概要又は公開計画無しの理由
なし	有・無	
	有・無	

6 処理を委託する処理業者（施設）の現地確認計画

区 分	廃棄物の種類	現地確認計画
中間処理場	コンクリがら	現場代理人が工事期間中に1回以上処理場へ出向き 処理状況、リサイクル状況の確認を行う。
	アスコンがら	
最終処分場	安定型	産業廃棄物担当者が、委託業者の内、抽出した業者 の施設の稼働状況、リサイクル状況、適性処理が実 施されているかを年1回以上確認する。
	管理型	

7 従業員教育（研修）計画

項 目	教育（研修）計画内容
社員教育	産業廃棄物管理責任者が全社会議、部会で教育を実施する。
取引先教育	現場代理人が新規入場時、定例会議時に教育を実施する。

8 リサイクル促進に向けた取組み（計画段階、実施段階での工夫など）

① 計画段階	現場毎に最適な分別方法の検討と委託業者の選定 委託業者は優良処理業者を積極的に選定する。
② 実施段階	工程計画及び設計内容を発注前に十分確認し、適正量の適正時期発注に努 めるとともに、現場同士の共同発注も考慮し、梱包材の削減を図る。

9 処理を委託した廃棄物について、不法投棄・不適正処理が生じた場合の排出事業者責任の徹底

委託処理した廃棄物が不適正に処理されたことが判明した場合
① 関係機関に連絡を行うとともに、状況把握を行う。
② 原因の究明についての協力体制をとる。
③ 不適正処理された廃棄物の撤去や最終処分については、原因者に強く要請 するが、排出事業者責任として適切に処理する。

10 他の不適正処理を発見した場合の協力体制

日頃から注意を払うよう社員へ喚起し、不適正と認められる処理現場を発見した場合は、関係機関へ情報提供を行う。

11 自社処理廃棄物の管理方法（自社処理を行っている場合のみ）

該当なし

12 その他協定の目的達成のため、独自に取り組む事項

※環境認証制度等の取得※、電子マニフェスト（公益財団法人 日本産業廃棄物処理振興センター）の導入等を含む。

- ① 導入済み電子マニフェスト利用の推進
- ② 一般廃棄物の事務所ごみについても分別、集積によりリサイクル向上の推進を図る。
- ③ ボランティアを含む環境整備活動を推進する。

※環境ISO 14001、エコアクション21等